

HA8000Vシリーズ

**HITACHI**

# ハードウェア安定稼働支援サービス ドライバパック ユーザーズガイド

マニュアルはよく読み、保管してください。  
製品を使用する前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。  
このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近なところに保管してください。

## 登録商標・商標

HITACHI は、株式会社 日立製作所の商標または登録商標です。  
HPE、ProLiant は、米国およびその他の国におけるHewlett Packard Enterprise Companyの商標または登録商標です。  
Intel、インテル、Xeon は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。  
Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer およびHyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。  
Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。  
Red Hat は、米国およびその他の国でRed Hat, Inc. の登録商標もしくは商標です。  
VMware は、米国およびその他の地域における Broadcom, Inc. の登録商標または商標です。  
その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

## 発行

2025 年 11月(第4版)

## 版權

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。

© Hitachi, Ltd. 2022, 2025. All rights reserved.

## 文書来歴

改定	年月日	説明
4071-1J-109	2022 年 4 月	初版
4071-1J-109-10	2023 年 2 月	OS からドライバを単品インストールする方法を追記。
4071-1J-109-20	2023 年 6 月	Gen11 装置を追加。
4071-1J-109-30	2025 年 11 月	Gen12 装置を追加。 安定稼働支援サービス Web ページからドライバパックをダウンロードするよう更新。 SUM を利用したインストール手順を、より簡易な方法に更新。

## はじめに

このたびは、日立アドバンストサーバ HA8000V ハードウェア安定稼働支援サービスをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本製品ご使用の前に、本書をご熟読のうえ、正しくお使いください。

### マニュアルをご参照されるときのご注意事項

本製品に関するマニュアルは、Hewlett Packard Enterprise 社が作成したものを参照いただく場合があります。その際、マニュアルに記載されている製品名などの用語は、以下のように読み替えてください。

Hewlett Packard Enterprise社 表記	読み替え内容
Hewlett Packard EnterpriseまたはHPE	日立製作所
HPE ProLiant サーバ または、ProLiant サーバ	HA8000V サーバ
SPP(Service Pack for ProLiant)	SPH(Service Pack for HA8000V)

HA8000V サーバのその他のマニュアルでは、Broadcom 社の関連製品の用語について以下のように読み替えてください。

読替前	読替後
VMware vSphere ESXi	VMware ESXi

また、ご覧いただくマニュアルは次のようなものがあります。

マニュアル種・マニュアル名	概要
各システム装置のユーザーガイド	システム装置に関するメインのマニュアルになります。対象モデルのユーザーガイドをご覧ください。
iLO ユーザーガイド	iLOは、システム装置のシステムボード上に実装したサーバ管理プロセッサです。このマニュアルでは、その操作や設定方法を説明します。
各種オプション／ツールのマニュアル	HA8000Vマニュアルホームページ内のよく読まれるマニュアルを閲覧いただきます。
上記以外の 各種オプション／ツールの マニュアル	Hewlett Packard Enterprise 社のホームページ内に掲載されるマニュアルを検索いただき閲覧いただきます。製品によっては、英語版掲載のみの場合もございます。

### 本製品に関するお問い合わせについて

本製品に関するお問い合わせにつきましては、お買い求め先までお問い合わせください。

# お知らせ

## 重要なお知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載したり、複写することは固くお断りします。
- 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いません。

## 規制・対策などについて

### ・海外での使用について

本製品は日本国内専用です。国外では使用しないでください。

なお、他国には各々の国で必要となる法律、規格などが定められており、本製品は適合していません。





## マニュアルの表記

このマニュアルの表記ルールについて説明します。

なお、マニュアルで説明している画面やイラストは一例であり、またマニュアル制作時点のものです。製品や製品の出荷時期により異なる場合があります。

### マニュアル内の記号

マニュアル内で使用しているマークの意味は、次のとおりです。

 <b>警告</b>	これは、死亡または重大な傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
 <b>注意</b>	これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
<b>通知</b>	これは、人身傷害とは関係のない損害を引き起こすおそれのある場合に用います。
 <b>制限</b>	システム装置の故障や障害の発生を防止し、正常に動作させるための事項を示します。
 <b>補足</b>	システム装置を活用するためのアドバイスを示します。

### システム装置の表記

このマニュアルでは、システム装置を装置と略して表記することがあります。

## 略語・用語

本マニュアルで使用している略語と用語は、次のとおりです。

略語・用語	説明
ドライバパック	システム装置に最適なドライバを集約したzip形式のアーカイブファイル
SUM	Smart Update ManagerはSPHに含まれ、HA8000Vのサーバ/コントローラ/ストレージの、ファームウェアとシステムソフトウェア（ドライバ、エージェント、ユーティリティソフト）をアップデートするツール
iSUT	Integrated Smart Update Tools




## オペレーティングシステム(OS)の略称

このマニュアルでは、次の OS 名称を省略して表記します。

- Microsoft® Windows Server® 2025 Standard 日本語版  
(以下、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2025 Datacenter 日本語版  
(以下、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2022 Standard 日本語版  
(以下、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2022 Datacenter 日本語版  
(以下、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2019 Standard 日本語版  
(以下、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2019 Datacenter 日本語版  
(以下、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2016 Standard 日本語版  
(以下、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter 日本語版  
(以下、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard 日本語版  
(以下、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter 日本語版  
(以下、Windows)
- Red Hat Enterprise Linux Server 9.x(64-bit x86\_64)  
(以下、Linux)
- Red Hat Enterprise Linux Server 8.x(64-bit x86\_64)  
(以下、Linux)
- Red Hat Enterprise Linux Server 7.x(64-bit x86\_64)  
(以下、Linux)
- VMware ESX™ 9.0  
(以下、VMware)
- VMware ESXi™ 8.0  
(以下、VMware)
- VMware ESXi™ 7.0  
(以下、VMware)
- VMware ESXi™ 6.7  
(以下、VMware)
- VMware ESXi™ 6.5  
(以下、VMware)

# 安全にお使いいただくために

安全に関する注意事項は、下に示す見出しによって表示されます。これは安全警告記号と「警告」、「注意」および「通知」という見出し語を組み合わせたものです。

	これは、安全警告記号です。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージにしたがってください。
 <b>警告</b>	これは、死亡または重大な傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
 <b>注意</b>	これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
<b>通知</b>	これは、人身傷害とは関係のない損害を引き起こすおそれのある場合に用います。



## 【表記例 1】感電注意

▲の図記号は注意していただきたいことを示し、▲の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。



## 【表記例 2】分解禁止

○の図記号は行ってはいけないことを示し、○の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。

なお、○の中に絵がないものは、一般的な禁止事項を示します。



## 【表記例 3】電源プラグをコンセントから抜け

●の図記号は行っていただきたいことを示し、●の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。

なお、❗は一般的に行っていただきたい事項を示します。

## 安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- 操作は、このマニュアル内の指示、手順にしたがって行ってください。
- 本製品やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
- 本製品に搭載または接続するオプションなど、ほかの製品に添付されているマニュアルもご参照し、記載されている注意事項を必ず守ってください。

これらを怠ると、人身上の傷害やシステムを含む財産の損害を引き起こすおそれがあります。

## 操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。

本製品について何か問題がある場合は、お買い求め先にご連絡ください。

## 自分自身でもご注意を

本製品やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を超えた事態が起こることが考えられます。操作にあたっては、指示にしたがうだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。



# 安全にお使いいただくために(続き)

---

## 警告表示

### 警告

---

本マニュアル内にはありません。

### 注意

---

本マニュアル内にはありません。

## 通知

---

### 電源操作

- ・ 電源操作は決められた手順に従って行ってください。決められた手順に従わずに電源を入れたり切ったりすると、装置の故障やデータの消失の原因となります。
- ・ 電源を切る前に、すべてのアプリケーションの処理が終了していることと、接続されているデバイスや周辺機器にアクセスがない(停止している)ことをご確認ください。動作中に電源を切ると、装置の故障やデータの消失の原因となります。
- ・ シャットダウン処理を行う必要がある OS をお使いの場合、シャットダウン処理が終了してから電源を切ってください。データを消失するおそれがあります。

なお、OS により電源を切る手順が異なりますので、OS に添付されるマニュアルもあわせてご参照ください。

### キーボード、マウス、ディスプレイの取り扱い

- ・ キーボード・マウス・ディスプレイはサポートしているオプション品を使用してください。その他のものを使用した場合、正常に動作しなかったり故障したりすることがあります。

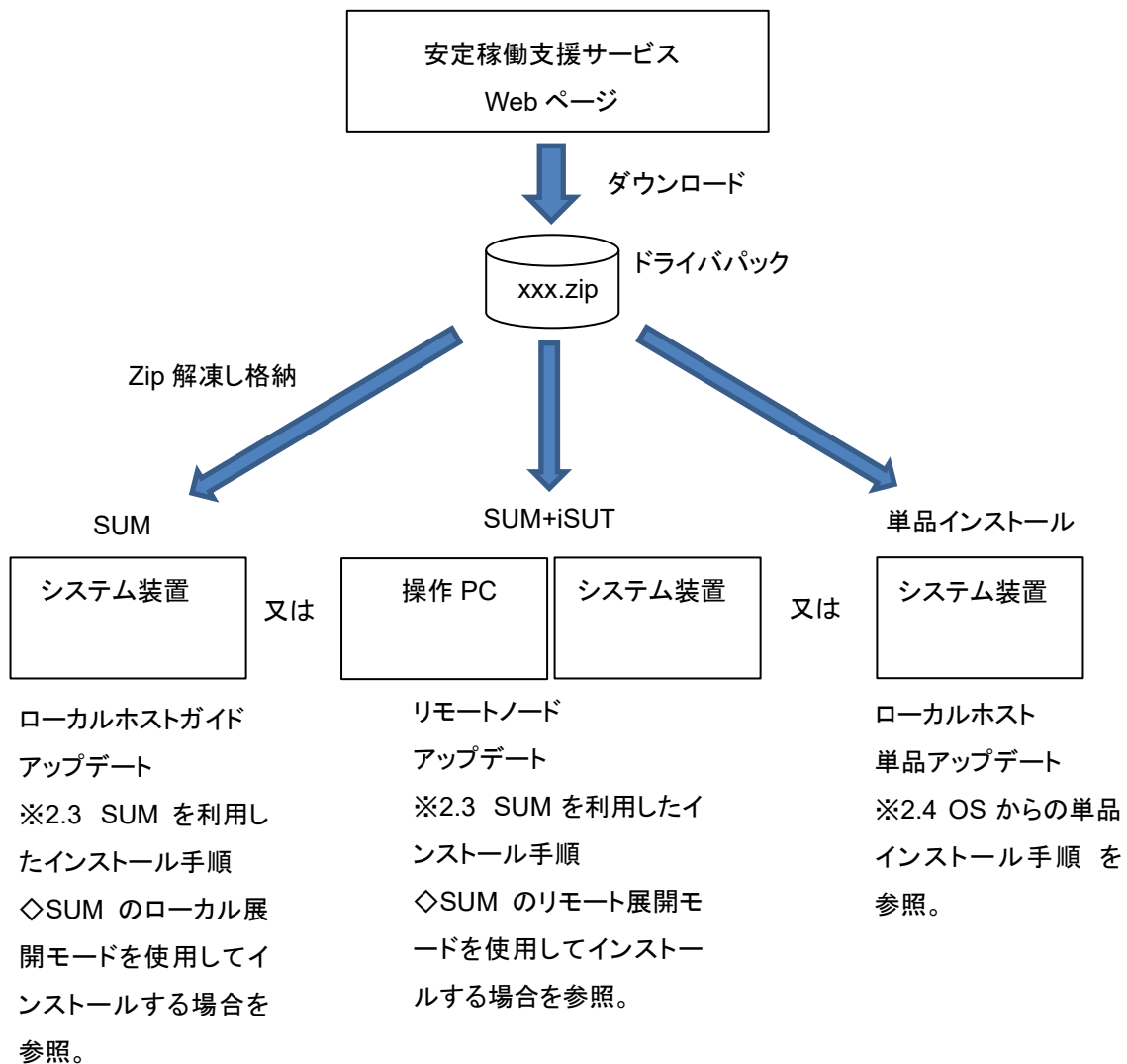
# 目次

登録商標・商標 .....	2
発行 .....	2
版権 .....	2
文書来歴 .....	2
はじめに .....	3
お知らせ .....	4
マニュアルの表記 .....	5
安全にお使いいただくために .....	8
警告表示 .....	9
目次 .....	10
1. ドライバパックについて .....	11
2. ドライバパックによるドライバのインストール .....	12
2.1. 概要 .....	12
2.2. インストール準備 .....	13
2.2.1. インストール対象装置のモデル名確認 .....	13
2.2.2. ドライバパックの入手 .....	13
2.2.3. ドライバパックに収録されているアーカイブファイル確認 .....	14
2.2.4. ドライバパック Readme の確認 .....	14
2.3. SUM を利用したインストール手順 .....	15
2.3.1. ドライバパックの準備 .....	15
2.3.2. SUM キャッシュファイルの消去 .....	15
2.3.3. SUM の起動 .....	16
2.3.4. ドライバパックのインポート .....	18
2.3.5. 追加パッケージの選択とドライバのインストール .....	19
2.4. OS からの単品インストール手順 .....	23
2.4.1. ドライバパックの準備 .....	23
2.4.2. 単品インストール .....	23

# 1. ドライバパックについて

ドライバパックは、安定稼働支援サービス Web ページにアップロードしたシステム装置の構成情報ログファイルから、現在のファームウェア／ドライババージョン、及び日立がアップデートを推奨するバージョンや重要なお知らせ／アドバイザリの情報を解析し、最適なドライバ群を集約したアーカイブファイルです。

ドライバパックを適用することで、ご使用中のシステム装置を最適な状態に保つことが可能です。



---

## 2. ドライバパックによるドライバのインストール

### 2.1. 概要

ドライバパックによるドライバのインストール方法は、SUM を利用してドライバをインストールする方法と、OS からドライバを単品でインストールする方法があります。

SUM を利用してドライバをインストールする場合は、ドライバパックに収録されている ISO ファイルから SUM を起動した後、ISO ファイル内のドライバを追加パッケージとして使用します。

OS からドライバを単品でインストールする場合は、ドライバパックに収録されている html ファイルを参照してドライバをインストールします。

本章では、SUM を利用してドライバをインストールする手順と、OS からドライバを単品でインストールする手順を示します。本章に記載した項目以外の SUM、iSUT の使用方法については日立ダウンロードサイト(HA8000V シリーズマニュアル)を参照してください。

## 2.2. インストール準備

### 2.2.1. インストール対象装置のモデル名確認

ドライバパックには、モデルごとに異なる複数のアーカイブファイルが収録されています。

適切なアーカイブファイルを使用するために、以下手順で、対象装置のモデル名をご確認ください。

＜iLO 5 または iLO 6 の場合＞

- (1) iLOにログインし、情報 > 概要の順に選択してください。
- (2) サーバー 内に記載の”製品名”を確認してください。

(例) HA8000V/DL360 Gen11 装置の表示例



＜iLO 7 の場合＞

- (1) iLOにログインしてください。
- (2) iLO画面の右上に表示される製品名を確認してください。

(例) HA8000V/DL380 Gen12 装置の表示例



上記で確認した製品名をもとに、対象装置のモデル名を以下表でご確認ください。

iLO に表示されている製品名	モデル名（本資料内で呼称します）
HA8000V/xxxxx Gen10	Gen10
HA8000V/xxxxx Gen10 Plus	Gen10 plus
HA8000V/xxxxx Gen11	Gen11
HA8000V/xxxxx Gen12	Gen12

### 2.2.2. ドライバパックの入手

ドライバパックは、安定稼働支援サービス Web ページより、入手いただく必要があります。

詳細は、ハードウェア安定稼働支援サービスご使用の手引き システム装置編 をご確認ください。

## 2.2.3. ドライバパックに収録されているアーカイブファイル確認

ドライバパックには、モデルごとに異なる複数のアーカイブファイルが収録されています。

以下表を参照し、インストール作業時にご使用いただくアーカイブファイルをご確認ください。

モデル名	ご使用いただくアーカイブファイル
Gen10	ファイル名称: <OS>_sys_<ドライバパックバージョン>_Gen10.zip (例): Win2022_sys_v0123_20250710_Gen10.zip
Gen10 Plus	
Gen11	ファイル名称: <OS>_sys_<ドライバパックバージョン>_Gen11.zip (例): Win2022_sys_v0115_20250710_Gen11.zip
Gen12	ファイル名称: <OS>_sys_<ドライバパックバージョン>_Gen12.zip (例): Win2022_sys_v0101_20250710_Gen12.zip

各アーカイブファイルの中には、2.3 SUM を利用したインストール手順で使用する ISO ファイルと、2.4 OS からの単品インストール手順で使用するドライバファイルが収録されます。アーカイブファイルには、ISO ファイルのみが含まれている場合、ドライバファイルのみが含まれている場合、または両方が含まれている場合があります。

## 2.2.4. ドライバパック Readme の確認

ドライバパックに含まれる Readme ファイルの注意事項/制限事項をお読みになり、該当する場合は記載内容に従って対処してください。

## 2.3. SUM を利用したインストール手順

### 2.3.1. ドライバパックの準備

SUM で使用する展開モードに従い、ドライバパックを準備します。

◇SUM のローカル展開モードを使用してインストールする場合

「2.2.3 ドライバパックに収録されているアーカイブファイル確認」で確認したアーカイブファイルを展開し、システム装置の任意のフォルダにコピーします。

◇SUM のリモート展開モードを使用してインストールする場合

「2.2.3 ドライバパックに収録されているアーカイブファイル確認」で確認したアーカイブファイルを展開し、SUM を実行する操作 PC の任意のフォルダにコピーします。

なお、リモート展開モードを使用する場合、事前に「iSUT」のインストール及びホストに対する設定が必要です。

「iSUT」が未インストールの場合、SPH の Readme を参照して、本作業前に「iSUT」のインストール及びホストに対する設定を実施してください。

### 2.3.2. SUM キャッシュファイルの消去

過去に SUM を実行した場合、SUM のキャッシュファイルが残ります。キャッシュファイルがあると意図しないドライバをインストールする恐れがあるため、キャッシュを消去してから作業を開始することをお勧めします。本手順を実行すると、過去に追加したベースライン／ファイルが削除されます。

◇Windows の場合： ISO ファイル内の packages フォルダにある「clean-cache.bat」を実行

◇Linux の場合： ISO ファイル内の packages フォルダにある「clean-cache.sh」を実行

### 2.3.3. SUM の起動

(1) ISOファイル内の起動スクリプトを管理者権限で実行します。

◇SUM のローカル展開モードを使用してインストールする場合

システム装置上で起動スクリプトを実行します。システム装置の OS によって、以下の手順を実施します。

◇SUM のリモート展開モードを使用してインストールする場合

操作 PC 上で起動スクリプトを実行します。操作 PC の OS によって、以下の手順を実施します。

◇Windows の場合：ISO ファイル内にある「launch\_sum.bat」を実行

コマンドラインで実行する場合、「.%launch\_sum.bat」を実行してください。

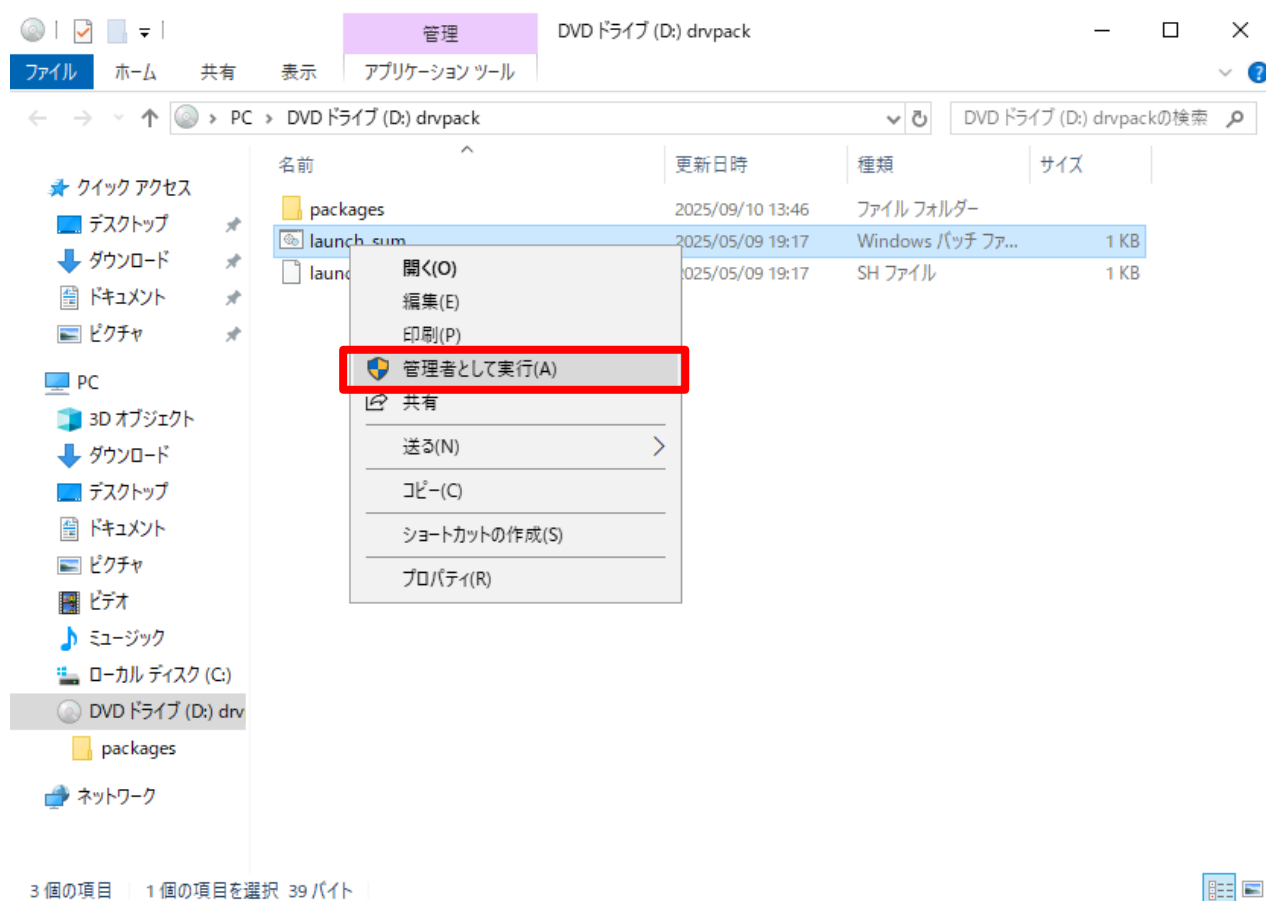
ローカル展開モードを使用してインストールする場合、管理者として実行する必要があります。

◇Linux の場合：ISO ファイル内にある「launch\_sum.sh」を実行

コマンドラインで実行する場合、「./launch\_sum.sh」を実行してください。

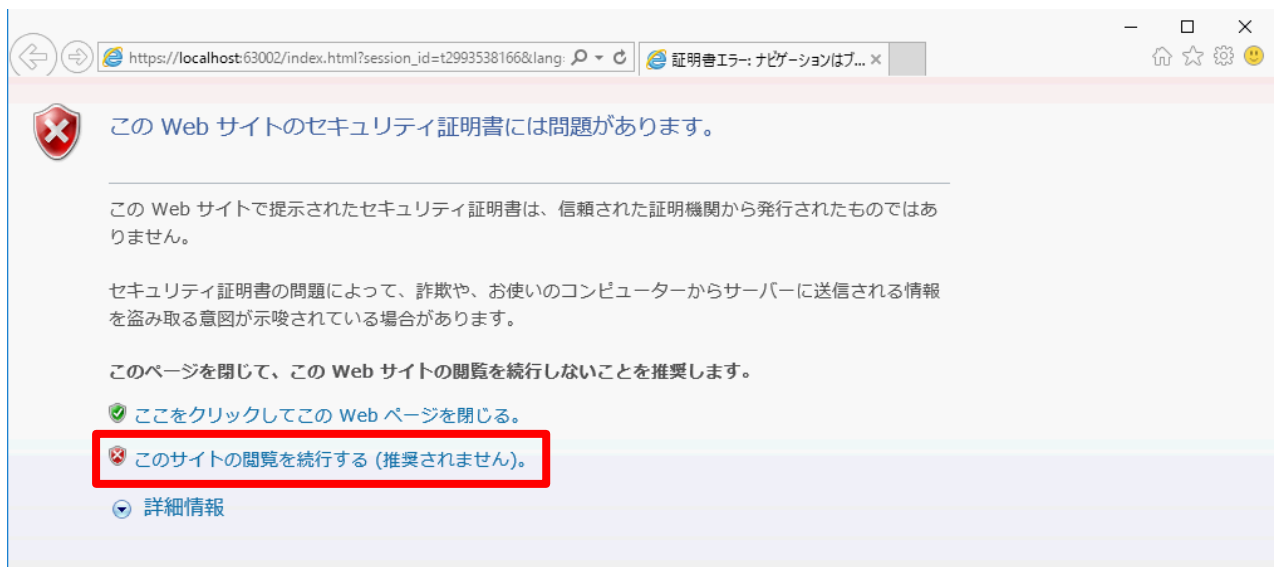
ローカル展開モードを使用してインストールする場合、管理者として実行する必要があります。

(例) Windowsでローカル展開モードを使用してインストールする場合





(2) 下記のセキュリティ証明書に関する警告が表示された場合は「このサイトの閲覧を続行する」を選択してください。



(3) SUMが起動します。



## 2.3.4. ドライバパックのインポート

(1) SUMの画面から「ベースラインライブラリ」を選択してください。



(2) ベースラインライブラリ画面に遷移します。

「ベースラインが正常に追加されました」と表示されることを確認してください。



### 2.3.5. 追加パッケージの選択とドライバのインストール

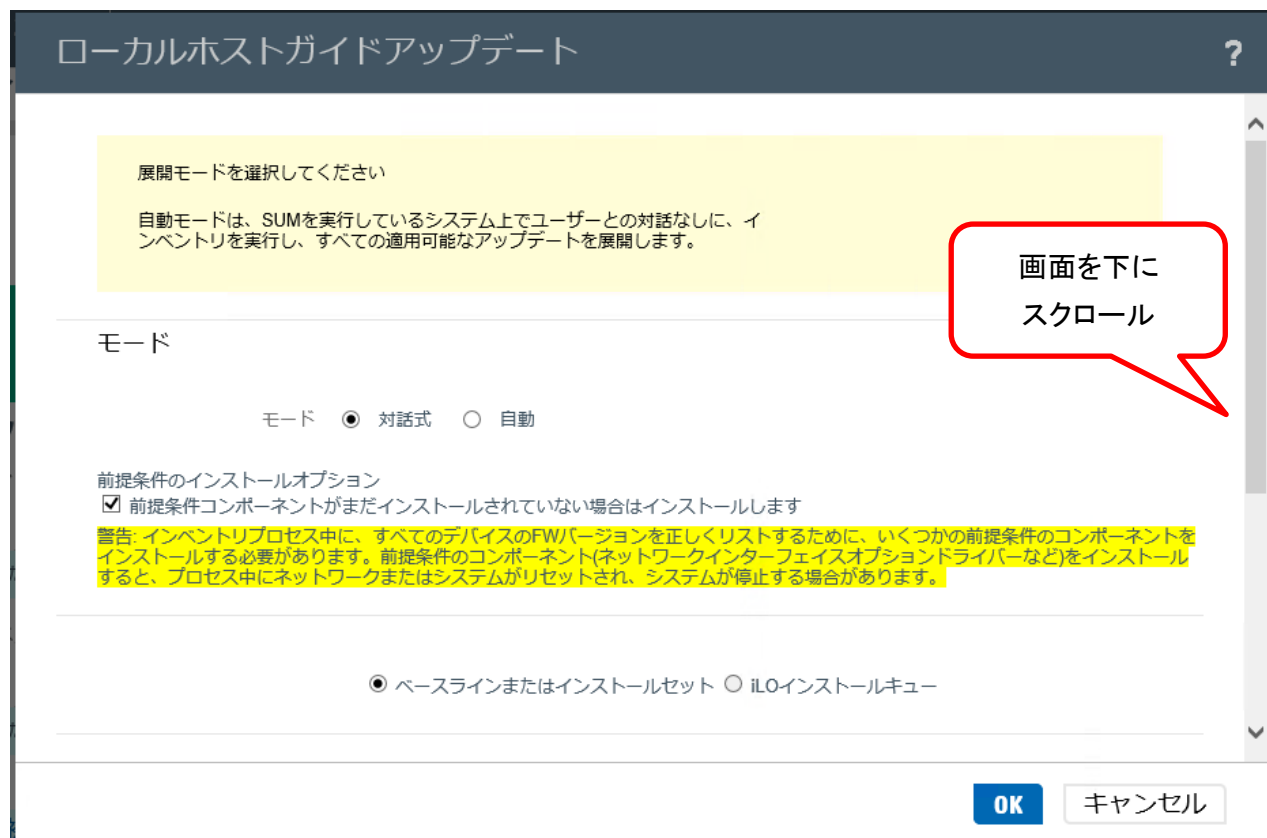
SUM で使用する展開モードによって、以下の手順で追加パッケージを選択してドライバパックをインストールします。

◇SUM のローカル展開モードを使用してインストールする場合

(1) 左上のメインメニュー選択画面から、「ローカルホストガイドアップデート」を選択します。



(2) ローカルホストガイドアップデート画面で、「異なるベースラインの割り当て」をチェックし、追加パッケージ欄でISOファイル内のpackagesを選択します。選択後、OKを選択します。



## ローカルホストガイドアップデート

● ベースラインまたはインストールセット ○ iLOインストールキュー

---

### ベースラインの選択

(オプション)このノードに適用する追加済みのベースラインおよび/または追加パッケージを選択してください。SUMが実行中のロケーションがデフォルトとして使用されます。

現在選択されているベースライン

現在の追加パッケージ Additional Package at D:\packages X

☒ 異なるベースラインの割り当て

ベースライン

追加パッケージ Additional Package at D:\packages X

OK キャンセル

- (3) ローカルホストのインベントリが進行します。これ以降は通常のSPHの手順と同様に、レビュー、展開を順次実施します。SUMの指示に従って実行してください。
- これでインストールは終了です。

https://localhost:63002/index.html?BMN=1757494099059#/guided-update/show

ローカルホストガイドアップデート Smart Update Manager 12.0.0

### ローカルホストガイドアップデート

アクティビティ

**手順 1**  
インベントリ

**手順 2**  
レビュー

**手順 3**  
展開

#### ベースラインおよびノードのインベントリ

▼ ベースラインのインベントリ

Additional Package at D:\packages	ベースラインが正常に追加されました	コンポーネント合計 13
-----------------------------------	-------------------	--------------

▼ ローカルホストのインベントリ

localhost	インベントリの進行中	インベントリを開始しました。
-----------	------------	----------------

次へ 中止 最初からやり直す 再起動

◇SUM のリモート展開モードを使用してインストールする場合

(1) 左上のメインメニュー選択画面から、「ノード」を選択します。



(2) 「ノードの追加」を選択します。ノードの追加画面で、対象のシステム装置の情報を入力します。  
ノードの追加の詳細はSUMのマニュアルを参照してください。



(3) 画面下の適用するベースラインの追加パッケージ欄で、ISOファイル内のpackagesを選択します。

ノードの追加

ノード 説明 remote

ノードタイプ Windows

アクティブなアップデート処理がリモートノードで検出された場合、SUMは次を行う必要があります

- アップデートを実行中のままにして、ノードをバイパスする
- ノード上で現在実行しているアップデート処理を停止し、このセッションからのアップデートに置き換える

前提条件のインストールオプション

適用するベースライン

(オプション)このノードに適用する追加およびインベントリを指定してください。今追加しない場合は、このノード上でインベントリを開始したときに、ベースラインを指定する必要があります。

ベースライン

追加パッケージ Additional Package at D:\packages

ノードグループ

追加 最初からやり直す 閉じる

画面を下にスクロール

ISO ファイル内の packages を選択

(4) ノードの認証情報を入力後、追加を選択してください。

対象システム装置がノードに追加されます。

ノードの追加

認証情報 パスワード

iLO認証情報

サーバーのiLOがセキュア標準モードまたは高セキュリティモードのいずれかになっています。また、iLOのホスト認証が必要設定が有効になっています。ファクトリリセットを使用します。iLOリカバリセットをアップデートするには、'リカバリ'を使用します。

注記: iLOを搭載したシステムにのみ適用されます。iLOドメイン認証情報を使用する場合は、iLOドメイン認証情報を使用する必要があります。

ユーザー名 administrator

パスワード

アプリケーションアカウント作成オプション

☒ アプリケーションアカウントがまだ作成されていない場合は作成します

SUMは仮想NIC (vNIC)を使用して、vNICをサポートするiLOと通信します。vNICを使用した通信には、iLOでアプリケーションアカウントが必要で、アプリケーションアカウントの作成には、ユーザーアカウント管理権限を持つiLO認証情報が必要です。

[HPE Privacy Policy](#)

追加 最初からやり直す 閉じる

ノードの認証情報を入力

- (5) これ以降は通常のSPHの手順と同様に、追加したノードのインベントリの実行、レビュー、展開を順次実施します。これでインストールは終了です。

## 2.4. OS からの単品インストール手順

### 2.4.1. ドライバパックの準備

ドライバパックのアーカイブファイルを展開し、システム装置の任意のフォルダにコピーします。

### 2.4.2. 単品インストール

ドライバパックに収録されている html ファイルを参照し、OS からドライバを単品でインストールします。

---

HA8000V シリーズ ハードウェア安定稼働支援サービス  
ドライバパック ユーザーズガイド

第 4 版 2025 年 11 月

無断転載を禁止します。

---

**株式会社 日立製作所**

〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 6 号

---

<https://www.hitachi.co.jp>